

みなさんお元気ですか。

ニカラグアに着任して、約4か月が経ちました。お友達が欲しくなります。



7月30日

UCA 大学の敷地内に設置された、絆館に行った。ここは、日本語を学びたいニカラグア人が集まる場所だ。ここで十数年以上日本語教師をしている二人にニカラグアの好きな点と嫌い点を聞いてみた。

Cicilia さん（女性教師）

好きな点

1) 優しい国民性 2) 共有する精神 3) ポジティブな心

嫌いな点

1) 時間を守らない 2) 汚い 3) なれなれしい



Randol さん（男性教師）

好きな点

1) 人がやさしい 2) 美しい観光地 3) 美味しい食べ物（肉）

嫌いな点

1) 教育 2) なまけ者 3) 思いやりのない人たち

さらに、二人の話を追加すると、

ニカラグアは日本より男女平等、女性がしっかりして働いている、日本より貧しい、だけど幸せを感じている人が多い。

私は、幼少のころ父親を亡くした。母親は十分な教育も受けてなく、貧しかった。しかし、母はよく働き、私を大学まで行かせてくれた。ニカラグア人には、本音と建前の区別はない。



見学した日本語クラスは、初級2のクラスで、最初の初心者6ヶ月コースを終了した生徒さんたちだった。生徒の年齢は、ばらばらで、15歳から30歳前くらいの人達だった。生徒全員が自己紹介をしてくれて、その後になぜ日本語を勉強しているのか、説明してくれた。

“なぜ、日本語を学んでいるんですか。”

この回答の多くは、日本の漫画やアニメが好きだから。日本に行きたい、留学したいからだった。

二人一組になって、日本語の会話フレーズを読んだり、一部言葉を変えたクイズをしたりして、文法も学んでいた。日本では、先生の質問に対して、まず生徒が手を挙げて、先生がその人を選ぶやり方、ある程度公平性があると思っている。



しかし、こちらは回答が分かった生徒が自ら答えるやり方をやっている。そして、次に進んでいく。傍から見ている私は、みんな分かっているのかなあ、と思う場面もあった。しかし、全員が真面目に勉強している雰囲気はあった。貧乏ゆすりしている人が多いことにも驚いた。

また、こちらでは、日本語の文法に「ふつうけい」、「ひかこ」などの用語で書かれていたが、日本ではこんな日本語は言わない、と思いながらも、スペイン語を母国語とする人には、このような表現が分かりやすいのかなあ、と考えさせられた。

しかし、私自身、日本語の文法を学ぶことが久しぶりなので、一緒に授業を受けているうちに、なぜか肩がこってきた。この生徒さんたちの話を聞いていると、非常に日本語の発音やアクセントなどがしっかりしている。その点、私のスペイン語はいっこうに上達しない。逆にスペイン語を教えてもらいたい気持ちだった。



8月4日

朝の稽古で、必ずこの女性（左写真）に会う。そして、いつも彼女から挨拶してくれる。たまたまあずま屋で休憩していたら、彼女が通ってきたので、いつもの質問をした。私の下手なスペイン語を見かねて、上手な英語で答えてくれた。

ニカラグアの好きな点

- 1) 人、親切で、助け合いの心、信頼できる人
- 2) 国土、雨季、美しい緑
- 3) 美味しい食べ物



嫌いな点

- 1) 喧嘩、墮落、政治
- 2) ゴミ投棄
- 3) 怠け者、和解力のなさ、問題の放置

さらに、付け加えて、この国で、よい友人がいれば、いい人生がおくれる。

久しぶりにまともな市民にあったような感じ。いい人だ。

Health&Wise な感じだった。





8月6日

朝の稽古を終えて、公園のあずま屋で一休みした。そこには、3人の女性がいた。一人の女性が二人に何かを説いているように、話していた。また、残りの二人も一生懸命、納得するように聞いていた。私は、何を話しているのか、と、隣で聞いてないふりをしながら、一生懸命耳を傾けたが、さっぱり分からなかった。しかし、所々に、サンディニスタのような単語が耳に入ってきた。いつもの質問をした。

Nicaの好きな点。1) 人々、2) 自然、3) Nicaの伝統や衣装。

Nicaの嫌いな点。1) 何もない、と言ったように聞こえた。！？

もう一つ気になっていたのが、ベンチにおいてあるものだった。3人はこれらをほおぼりながら、おしゃべりしている。これらはなんですか、と聞いてみた。



一つは(左写真)は、トルティージャ、真ん中は、ケソス(ニカラグアのチーズ)、そして、3番目(写真右)は、チチャロン(豚の皮を揚げたもの)。真ん中のチーズは、通常のチーズとは違っている。まず、しょっぱい。塩を噛んでるようだった。しかし、噛んでいるうちに、何かうまいと感じた。丁度運動した後で、腹も減っていたせいなのか、このチーズ、もう一度食べたくなくなった。チチャロンもしょっぱいけど、香ばしい、おかきを食べているようだった。

3人に接していると、何か純朴でやさしい人たち、という感じを受けた。初めて会ったのに。



後日、同じものをスーパーで買ってみた。

やっぱり、美味しくなかった。きっとあの時は、空腹だったから、美味しく感じたのかもしれない。でも、昨日貰ったものは、きっとあの女性の手作りだと思うので、きつとうまかったのだろう。チチャロンは、焼き魚の焦げた所をかじった感じの味がした。なぜか、うま味に欠けているようだ。ケソは、やっぱりチョッパかった。

以前に日本に数年いるニカラグア人に、日本に輸入したい食べ物はなんですか、と聞いたことがある。その時の回答は、このケソだったと記憶している。たしかに、この味は、日本にはないだろう。このケソをニカラグアのパンと一緒にたべたら、美味しいかもしれない。



8月10日

新しい発見。

ケソ（ニカラグアのチーズ）、見た目は日本の豆腐のようだ。味はしょっぱいだけ。梅干しのおにぎりを思いだした。そうだ、このしょっぱい、ケソをおにぎりにしてみようと考えた。早速やった、炊き立てのご飯を握って、中にケソを入れて、ノリでまいて、おにぎりにした。これはあう。いける、と思った。

それから、チチャロン（豚の皮）。ソファに座って、テレビを見ていた。そして、手元を見ると、ポテチのように袋から摘まんでいるチチャロンの袋があった。自分でも驚いた。しょっぱいチチャロン。初めて食べたときは、何だこれ？、とっていた。しかし、今では、カウチポテトのようにして、食べている。Oh My Gad!!!!



8月5日

金曜日の午後2時ごろに、銀行に行った。大勢の人が行列をなしていた。今日は、金曜日だから、利用客が多いのかな、と思いながら、列の最後尾に並んだ。私の後ろにも次々と人が並んだ。10分ほどして、ガードマンが立っている入口の所を観察していた。列に並ばないで、中に入っていく人も数人いる。この列は、何なんだろう。窓口に行く人たちの列なのか。疑問に思って、ガードマンに聞いた。IDを見せた。マスクを外した。防犯カメラの方を向けと言われたので、そのとおりにした。最後に、年齢を聞かれた。67歳と言うと、すんなり扉を開けてくれた。

そして、高齢者の列は、左側だからそちらに行くようにと教えてくれた。この国では、客を待たせてることには何も配慮しないのに、年寄りには親切なんだ。

驚き、、、。



8月12日

最近、毎朝、オムレツを作って食べている。

ニカラグアの乳製品が安くて美味しいことが分かってきたので、最近、生卵に、日本から持ってきただし（焼あご）を入れて、少し牛乳をいれる。そして、フライパンにのせて、オムレツをつくる。中に入れる具は、チーズ、トマト、ケソなど。簡単でなぜか、うまい。チーズのしょっぱさとだしが聞いていて、日本の味を感じる。初めて、ケソ（豆腐のようなニカラグアのチーズ）を食べたときは、口に合わなかったけど、何回が食べているうちにこのしょっぱさが、好きになった。具をたくさんいれるので、円盤状になった卵をなかなかうまく巻けない。自分が食べるのだから、形はどうでもいいけど、上手くなったら、誰かと一緒にたべよと。